



公務員試験突破 祝合格！！

公務員試験を受験した最終結果が出ました。複数合格した生徒もいますが、最終的に内定している就職先は以下の通りです。いずれも高倍率の受験となりましたが早い段階からしっかりとした準備をした成果です。

進路（公務員）速報！！

- ①沼田市職員【一般事務職】※3年連続内定（土木技術職/一般事務職）
- ②みなかみ町職員【一般事務職】
- ③自衛官【自衛官候補生】

1・2年生で公務員希望の人の準備（模擬試験や対策セミナー参加など）もすでに始まっています。まずは担任の先生や進路室に声をかけて準備計画を立てましょう。

公務員の内定を決めた生徒のコメント

農業系 我妻園華さん（みなかみ町役場に内定）



私が公務員を目指そうとしたきっかけは、事務系の仕事を希望していた中、先生方や両親に勧められた事です。専門学校の公務員模試や夏期講習にも通い勉強を重ねてきました。また、先輩方の受験資料を参考にして面接の対策も行いました。地道な取り組みが内定に結びついたのだと考えます。いただいた内定を無駄にしないよう地元である、みなかみ町民の幸せのために力を尽くしたいと思います。

農業系 吉野亜弥美さん（沼田市役所に内定）

私は、元々人の役に立ち、笑顔に出来る仕事に就きたいと考えていました。利根実業高校での学校生活を通じ、地域の皆様と触れ合う機会が増え一層その気持ちが強くなり、沼田市役所職員になりたいと考えるようになりました。積極的に公務員対策セミナーや夏期講習に参加し、公務員試験に必要な知識を養い、臨んだ面接試験では、地域に貢献したいという強い気持ちや自分の考えを自信を持って伝えられたことが合格に繋がったと思います。入職後は、市民に寄り添える職員を目指し頑張っていきたいと思っています。



保護者の方からの進路に関するQ&A

(2学年進路セミナーアンケートより)

進路Q&A

Q：高校生が受験できる公務員の職種や内容について知りたい。

A：高校生が受験する主な公務員は（近年における本校生徒の実績はアンダーラインの職種です。）

- ・国家公務員採用一般職試験（高卒者試験）※事務系職種/技術系職種
- ・国家公務員採用専門職試験（高卒者試験）※税務職員/皇宮護衛官/入国警備官/刑務官など
- ・国家公務員採用特別職試験（高卒者試験）※裁判所一般職/衆議院一般職/参議院一般職など
- ・都道府県・政令指定都市などの採用試験（Ⅲ類・初級）
※群馬県職員など（行政事務/学校事務/警察事務/森林/農業/畜産/土木など）
- ・市町村職員（高校卒・初級）※沼田市職員・みなかみ町職員・渋川市職員など（一般事務/土木技術など）
- ・警察官（都道府県別）※群馬県警察官Bなど
- ・消防士（市町村/広域市町村別）※利根沼田広域市町村消防士など
- ・自衛官（一般曹候補生/自衛官候補生）

Q：企業の情報が知りたい。上級学校の情報が知りたい。

A：進路指導室に企業情報（パンフレット等）や各種学校情報（学校説明資料・募集要項等）がファイルで管理されており、閲覧することが出来ます。お越してください。

Q：県外の就職先について希望できるか？

A：H30年度の本校で受付をした求人件数（10月末時点）は県内392件（内、利根沼田は124件）、県外838件でした。本校の生徒の傾向として、9割以上の生徒が県内就職を希望しますが、県外の大手企業に就職する生徒もいます。

Q：進学に関わる費用について知りたい。

A：進学先に支払う費用は、以下の通りです。（(株)リクルートマーケティングパートナーズ資料による）

国公立大：244万円（4年間）	私立理系大：578万円（4年間）
私立文系大：417万円（4年間）	専門学校：229万円（2年間）

更に、1人暮らしをする場合は以下の費用も必要です。

学生の実生活費は東京都・南関東では13万円程度（1ヶ月）

家からの平均的な仕送り額は6～8万円（1ヶ月）

また、注意したいのは、以下の費用も高校在学中に必要となります。

①受験費用（受験料3万5千円程度）

②入試合格後、予め振り込む入学金や授業料の一部もしくは全額（60～130万円程度）

Q：奨学金などについて知りたい。

A：代表的な奨学金は以下の通りです。

<貸与型奨学金>

- ・日本学生支援機構（無利息/利息付）
- ・日本政策金融公庫「国の教育ローン」
- ・民間金融機関の教育ローン
- ・大学などが独自に行う貸付制度

<給付型奨学金>

- ・日本学生支援機構
- ・大学などが独自に行う給付制度

いずれの奨学金制度も利用条件や申し込み審査があります。

また、奨学金は入学後に入学先の学校で手続き後に支払われるため、入試合格後、予め振り込む入学金や授業料の一部の支払いにはほとんどの場合利用できません。

現在、大学進学者（昼間部）の48.9%が奨学金を利用している（日本学生支援機構調べ）とのデータもありますが、卒業後長期（40歳になるまでの間）にわたり返済をするのは生徒本人であり、返済がその後の人生に大きな負担となることを、予め本人と保護者の間で話し合い理解しておく必要があります。